

地域密着型サービス運営推進会議の記録

会議名称：第114回（通算回数）【令和7年度 第2回】運営推進会議
☒定例 ☐臨時 ☐その他（ ）

事業者名 : 社会福祉法人ふくふく会

事業所名 : グループホームみやび

サービス種類：認知症対応型共同生活介護 介護予防認知症対応型共同生活介護

会議開催日時：令和7年7月22日（火）14時00分～15時00分

会議開催場所： みやび1階 介護者教室

《運営推進会議出席者》

構 成 区 分	職 種 等
羽曳野市地域包括支援センター	羽曳野市東圏域地域包括支援センター職員
地域住民の代表	民生委員
有識者	元グループホーム管理者
利用者の家族	

《事業者出席者》

施設長
管理者
計画作成担当者

令和7年5月1日～6月30日

1. 入居者・短期利用者状況

・各階の利用者状況【定員27名】（6月末日の状況）

	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	平均	□性別 男性 3名 女性 24名 □年齢 74歳～106歳 平均89歳
2階		4	3	1		1	9	2.0	
3階		1	1	2	4	1	9	3.3	
4階		2	1	5	1		9	2.6	
計		7	5	8	5	2	27	2.6	

・認知症高齢者の日常生活自立度

	～Ⅰ	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	Ⅴ	計	Ⅲ以上
2階				5	4			9	9
3階		1	1	3	2	2		9	7
4階		1	1	4	3			9	7
計		2	2	12	9	2		27	23

・入居、退居状況

・入居 5月2日 95歳 女性（3F）

・短期利用

なし

・入院状況

・5/8～5/13 92歳女性（2F）消化管異物・・・医真会八尾総合病院

2. 活動状況報告

・医療関係

【定期診療】
やすだ内科クリニック（2回往診/月） 上野山歯科医院（1回往診/月・1回口腔ケア指導/月） 城山病院（1回受診/3ヶ月） こにし眼科（1回受診/3ヶ月） 丹比荘病院（2ヵ月1回受診）
【不定期診療】
5月：きのした整形外科（左示指基節骨頸部骨折経過） やすだ内科クリニック（熱発） 医真会八尾総合病院（消化管異物） はびきの医療センター（好酸球肺炎疑い） おとのクリニック（熱発） 医真会総合クリニック（消化管異物経過） 上野山歯科（虫歯、銀歯調整）
6月：やすだ内科クリニック（腰痛、便秘、パーキンソン病症状） 城山病院（硬膜下血腫、褥瘡）きのした整形外科（腰椎圧迫骨折）

・行事等活動報告

【全体行事】
5月18日： グループホーム合同バーベキュー 入居者25名参加
5月25日： かふえみやび 地域住民6名参加
6月22日： かふえみやび 地域住民10名参加
6月29日： グループホーム合同バイキング 入居者27名参加

【クラブ活動】			
5月：音楽（26名）			
6月：運動（24名）			
【ボランティア受け入れ】			
5月：傾聴ボランティア（楽花生）7名			
6月：傾聴ボランティア（楽花生）12名			

【フロア行事】			
なごみ村	外出場所	食事	人数
5月 1日	イオン藤井寺		2
5月 2日	アイセルシュラホール		2
5月 25日	アイセルシュラホール	昼食	9
5月 28日	入居者様自宅		1
6月フロア行事	誕生日会		
しあわせ村	外出場所	食事	人数
5月 1日	金岡公園		2
5月 5日	はびきの市民フェスティバル		3
5月 8日	シュラホール・辛国神社		2
5月 10日	河内長野方面ドライブ		2
5月 12日	イズミヤ古市店		2
5月 13日	イズミヤ古市店		2
5月 15日	富田林方面ドライブ		2
5月 19日	城山古墳公園		2
5月 25日	ららぽーと堺		2
5月 27日	あすかてくるで		2
5月 28日	藤井寺イオン		2
5月フロア行事	誕生日会		
6月 5日	イズミヤ古市店～入居者様自宅		2
6月 22日	太子町～羽曳野～藤井寺ドライブ		6
6月 24日	イズミヤ松原店		2
6月 30日	橿原イオン		2
ほのぼの村	外出場所	食事	人数
5月 26日	八尾イズミヤ	おやつ	9
5月 27日	近つ飛鳥博物館		9
5月 31日	しらとりの郷～マクドナルド外環喜志店	おやつ	8
5月フロア行事	誕生日会		
6月 2日	二上パーク当麻	おやつ	9
6月 4日	シュラホール	おやつ	9

6 月 16 日	滝谷不動尊		6
6 月 23 日	奈良方面ドライブ		3
6 月 30 日	八尾イズミヤ	おやつ	9

<みやび>当施設では、「～階」ではなく愛着がわくように「～村」と名称しています。

また、各階で外出の参加人数や回数が違いますが、介護度の違いや入居者の状況、職員の人数などが理由として挙げられます。

・ひやりハット等 ※原因が特定されない痣、内出血、傷、表皮剥離等をボディーチェックとして報告

フロア	月	ひやりハット	エコ	急変報告	ボディーチェック
なごみ村	5 月	31 件	14 件	なし	5 人・7 件（内 発赤 3 件、剥離 1 件）
	6 月	24 件	13 件	なし	4 人・6 件（内 剥離 1 件）
しあわせ村	5 月	13 件	4 件	なし	3 人・3 件
	6 月	22 件	4 件	なし	なし
ほのぼの村	5 月	19 件	9 件	なし	なし
	6 月	32 件	14 件	1 件	1 人・1 件

<みやび> エコは、電気の消し忘れや水道の閉め忘れ、物品の破損などあれば記入し、意識を持ってもらい、エコに繋がる事を目的としています。

今回の 1 件もそうですが、急変報告のほとんどは急な立ち上がりや、多量の排便があった時などに血圧の変動が原因で意識消失がみられる等の内容で、しばらく安静にしていると落ち着かれています。

・事故報告

フロア	月	種 別
なごみ村	5 月	転倒 1 件 欠薬 3 件
	6 月	転倒 1 件
しあわせ村	5 月	なし
	6 月	欠薬 1 件
ほのぼの村	5 月	なし
	6 月	転倒 2 件

※会議内で事故の詳細と対応策を報告させていただいています

・研 修

【O J T・内部研修】		
5 月 20 日	・防災訓練（毎月実施）台所より夜間出火想定での初期動作訓練	10 名参加
5 月 21 日	・感染症（新型コロナウイルス）の対応に関する研修、訓練	6 名参加
6 月 26 日	・みやび全体防災訓練 日勤帯 ほのぼの村台所より出火想定	9 名参加
	・災害避難時の対応に関する研修、訓練（水害）	4 名参加

【研修等受け入れ】

6月17日 ・傾聴ボランティア養成研修3名

＜みやび＞ 感染症（新型コロナウイルス）の対応に関する研修、訓練や災害避難時の対応に関する研修、訓練は、BCP（業務継続計画）に沿ってさせていただいています。研修では内容を確認し、見直し、訓練では実際に行ってみての課題などをみつけ、改善していく事を繰り返し行っています。今回の訓練では、実際に階段を使用した避難を実施しましたが、女性スタッフ複数であっても、入居者の方を抱え階段で移動する事は難しく、かなりリスクが高い事がわかりました。

・地域交流等**【介護事業者連絡協議会・グループホーム部会など】**

5月 5日 ○ 羽曳野市民フェスティバル 「みまもりあいアプリ活用ゲーム」認知症啓発活動
5月 23日 ○ グループホーム部会 ・グループホームガイドブック作成についてなど
5月 27日 ○ 認知症サポーター養成講座 生きがいサロン5号館にて
6月 19日 ○ 羽曳野市介護保険事業者連絡協議会総会
6月 27日 ○ 西浦校区福祉委員会総会

＜意見＞ 認知症サポーター養成講座を受けた方の活躍される場はあるのですか

＜みやび＞ 養成講座を受けた方は「認知症サポーター」として、認知症の事を正しく理解し、認知症の方やその家族を自分の出来る範囲で手助けしたり、見守りする事を目的としています。それ以上の事を希望される方は、ステップアップ講座というものがあるので、それを受けた後に「オレンジサポーター」に登録していただく事で、市内4カ所に認知症コーディネーター（認知症地域支援推進員）がいますので、その地域のコーディネーターと一緒に認知症の方の話し相手や同伴活動、相談などの活動を行う事となっていますが、羽曳野市では現在、オレンジカフェにて、参加者の話し相手になっていただいている事ぐらいしかできていません。今後、オレンジサポーターの交流会等予定していますので、これからの活動について話をしていきます。皆様から何か意見や提案などあればお願いします。

・苦情、要望など

なし

・その他**【職員入退職・異動状況】**

6月 ・入職 10代男性1名 ・退職 50代女性1名

【介護相談員】

5月12日 2名訪問

6月 9日 1名訪問

＜みやび＞ 世間一般には看取り（ターミナルケア）について、どういうイメージをお持ちですか。みやびでは、看取りになりそうな段階の前に家族様と話し、今後想定される事を伝え、みやびでは、医療行為は最低限しか行う事はできないが、今まで暮らし慣れてきた環境で、ひとり寂しくないように配慮できる事と、医療行為を希望されるのであれば病院という選択肢もある事を説明し、家族様に考えていただく時間を設けています。ほとんどの家族様はみやびでの看取りを選択していただきます。＜意見＞施設での看取りは病院での緩和ケアと似ている。私の母親は緩和ケア病棟のある病院へ転院する前の病院では、大部屋で白い壁に囲まれベッド上で1日を過ごす生活を送っていたのですが、

そこを嫌がっていました。緩和ケア病棟のある病院では部屋や職員の雰囲気も良く、母に笑顔がみられました。また、それまで食事を食べられなかったのが少しですが食べれるようになりました。

Dr からは余命 5 日と言われ、転院してから 5 日後に亡くなりました。

父親は施設で急死しました。どこからか出血している事がわかりましたが、Dr からは手の施しようがないとの事で入院せずそのまま施設で生活を送る事になりました。食べ物にも制限がありましたが、職員の方が甘いものを少し食べさせてくださったと聞きました。亡くなる当日、面会に行き、帰った後 2 時間後に亡くなりました。発見した職員によると、巡回時に好きな野球を観ており、その事について話ししていたが、次の巡回時には亡くなっていたと報告を受けました。

<みやび>最後は、好きなものを食べるなど、好きな事をしたいという思いは誰にでもあると思います。みやびでもそれを家族様同意のもと行えるようにしたいと考えます。

<意見>看取りのイメージは悪くないのではないかと。ただ、在宅での看取りは急性期と慢性期で考え方も変わり、家庭環境によっても左右される。例えば兄弟間で意見が違う。主介護者が息子の嫁であり、息子は仕事で朝から晩までいないなど。Dr が「在宅で看取りをするのであれば、健常人が 3 人いる」と言っていました。実際に在宅で看取りをしようとすると一人では難しいので、それだけの人数が必要になってくる。

<みやび>看取り以外でもそうですが、家族様含め「まだ大丈夫」と言われる事が多くあります。

「まだ」の基準はどこにあるのでしょうか

<意見>家族はそこまで深刻に考えていないと思います。また「迷惑をかけるから」「人の世話になるのは恥ずかしい」という思いからくる発言ではないかと。

<意見>自分の中では「まだ大丈夫」であり、状態が悪くなれば病院へとといった考えの方は多いのではないのでしょうか。

<みやび>たまたま、看取りの状態で施設入居希望の問い合わせがありますが、ご本人や家族様との信頼関係が出来ていない状況では受け入れは難しいと言っています。施設で看取りを行う為には、ご本人、家族様との信頼関係と協力が欠かせません。

<みやび>看取り時期になると、家族様にはいつでも面会に来てもらっても良い事にしています。

また、最期を家族様に看取ってもらえるよう状態に変化があれば家族様に連絡し、来ていただくようにしていますが、来ていただくと状態が安定する事が不思議と多いです。

<意見>最後は家族にみてもらわず、一人で逝きたいのかもしれないですね。

<意見>家で生活を送っている時は、毎日のように家族が面倒をみていたが、施設入居すると、身の回りの事を職員の方がしてくれるので、毎日会いに行くという事はなくなった。今回の話をしていると「親孝行したいときに親はなし」という言葉が思いうかびます。

<意見>看取りについては、100 人いれば 100 人考え方が違う。

看取り時期に何かをするという考えではなく、後悔のないよう普段から、面会に行く事ができれば良いのではないかと。

<みやび>貴重な意見ありがとうございます。今回いただいた意見を参考に、今後看取りの事について考えていきたいと思っています。